

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】平成19年12月27日(2007.12.27)

【公表番号】特表2007-512955(P2007-512955A)

【公表日】平成19年5月24日(2007.5.24)

【年通号数】公開・登録公報2007-019

【出願番号】特願2006-542833(P2006-542833)

【国際特許分類】

B 0 5 D 7/24 (2006.01)

D 0 6 M 11/38 (2006.01)

A 6 1 L 15/44 (2006.01)

A 6 1 K 33/38 (2006.01)

A 6 1 P 31/04 (2006.01)

A 6 1 P 31/02 (2006.01)

A 6 1 P 41/00 (2006.01)

D 0 6 M 11/58 (2006.01)

D 0 6 M 11/83 (2006.01)

D 0 6 M 11/13 (2006.01)

D 0 6 M 11/76 (2006.01)

D 0 6 M 11/56 (2006.01)

D 0 6 M 11/71 (2006.01)

D 0 6 M 11/82 (2006.01)

A 6 1 L 2/16 (2006.01)

A 6 1 F 13/00 (2006.01)

【F I】

B 0 5 D 7/24 3 0 3

D 0 6 M 11/38

A 6 1 L 15/03

A 6 1 K 33/38

A 6 1 P 31/04

A 6 1 P 31/02

A 6 1 P 41/00

B 0 5 D 7/24 3 0 2 A

D 0 6 M 11/58

D 0 6 M 11/83

D 0 6 M 11/13

D 0 6 M 11/76

D 0 6 M 11/56

D 0 6 M 11/71

D 0 6 M 11/82

A 6 1 L 2/16 A

A 6 1 F 13/00 3 0 1 Z

A 6 1 F 13/00 3 0 1 Q

【手続補正書】

【提出日】平成19年11月8日(2007.11.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

銀化合物を基材にコーティングする方法であって、
やや難溶性の銀含有化合物をアンモニウム含有化合物と合わせて水性溶液を形成する工程と、
前記溶液を基材にコーティングする工程と、
前記コーティングされた基材を乾燥させる工程と、
を含む、方法。

【請求項 2】

前記銀含有化合物が、塩化銀、硫酸銀、炭酸銀、酸化銀、ステアリン酸銀、リン酸銀、およびチオシアン酸銀からなる群から選択される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の方法により製造される物品であって、やや難溶性の銀含有化合物で含浸された前記物品は、前記溶液を塗布する段階で導入されたアンモニウム化合物、又は、アンモニウム化合物および前記銀含有化合物の残留成分を本質的に含まない、物品。

【請求項 4】

銀化合物を基材にコーティングする方法であって、
酸化銀をアンモニウム含有化合物と合わせて水性溶液を形成する工程と、
前記酸化銀を高原子価状態にするのに有効な量の酸化剤を添加する工程と、
前記溶液を基材にコーティングする工程と、
前記コーティングされた基材を乾燥させる工程と、
を含む、方法。

【請求項 5】

前記アンモニウム含有化合物が、炭酸アンモニウム、五ホウ酸アンモニウム、および酢酸アンモニウムからなる群から選択される、請求項 1 又は 4 に記載の方法。

【請求項 6】

1 種類以上のやや難溶性の銀化合物で含浸された多孔質基材を含む医療用物品であって、前記医療用物品は鋼に対して 1 N / cm 未満の剥離強度を有しかつ創傷組織に接着しない、医療用物品。